



2024.05.10

報道関係各位

アストンマーティン ジャパン

## 新型アストンマーティン Vantage GT3 2024 WEC と IMSA の連戦でさらに加速

- アストンマーティンのパートナーチーム D'station Racing と Heart of Racing が FIA 世界耐久選手権（WEC）の好調スタートを足掛かりにさらなる飛躍を目指す
- 2024 年、最高レベルでの初勝利を狙う新型アストンマーティン Vantage GT3
- WEC 出場チームがル・マン 24 時間に備えるラストチャンス
- Heart of Racing の目標は、IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権の次戦ラグナ・セカでの初の表彰台獲得
- 現在、25 台のアストンマーティン Vantage GT3 が世界各地のレースで活躍中



2024 年 5 月 7 日、スパ・フランコルシャン（ベルギー）：

ルサイル（カタール）とイモラ（イタリア）で FIA 世界耐久選手権（WEC）の今シーズンを好調にスタートしたアストンマーティンの新型 Vantage GT3 が、5 月 11 日（土）にスパ・フランコルシャン（ベルギー）で開催される次戦、トタルエナジーズ・スパ・フランコルシャン 6 時間レースに向けて勢いに弾みを付けています。

ヨーロッパで最も有名な耐久レースの一つとして知られるスパ・フランコルシャン 6 時間レースは、アストンマーティンのパートナーチーム、**D'station Racing** と **Heart of Racing (HoR)** が、今シーズンの山場となる 6 月 15 日、16 日開催のル・マン 24 時間レース（フランス）を前に **WEC** のレースコンディションに向けた微調整を図るラストチャンスとなります。

両チームとも **LMGT3** クラスのポイントスタンディング 5 位以内で、今シーズン既に表彰台を獲得しています。**HoR** のチーム代表兼ドライバーのイアン・ジェームス（英国）は 2024 年に入ってから常に予選を 5 位以内で通過し、先月のイモラではクラスのフロントローからスタートしました。

今週末も、ジェームスはダニエル・マンチネッリ（イタリア）と **IMSA** 優勝経験者アレックス・リベラス（スペイン）と組み、米国を拠点とする **HoR** のこの 3 名は、昨年 **WEC** デビューを果たしたサーキットで **WEC** 初優勝を狙うこととなります。

**D'station Racing** も、カタールでは **HoR** に続く 3 位、イモラでもポイント獲得と、**WEC** シーズンを最高のスタートを切っています。チームのタイトル獲得のチャンスを最大限に高めるため、**GT** クラスで 3 度 **WEC** チャンピオンに輝いたアストンマーティンのワークスドライバー、マルコ・ソーレンセン（デンマーク）が今年日本の **SUPER GT** と重複する日程で **WEC** を優先することも発表されました。ソーレンセンに加え、フランスおよびヨーロッパ **GT4** 王者のエルワン・バスタード（フランス）、スパ・フランコルシャン 24 時間レースのクラス勝者クレメント・マテウ（フランス）がチームに加わります。

**HoR** は、**GTD Pro** と **GTD** クラスの両方のアストンマーティン **Vantage GT3** で、今週末にラグナ・セカで開催される **IMSA** ウェザーテック・スポーツカー選手権にも参戦します。**GTD** には 2022 年 **IMSA GTD** クラス王者のロマン・デ・アンジェリス（カナダ）と **Magnus Racing** のスペンサー・パンペリー（米国）が 27 号車で、**GTD Pro** にはマリオ・ファーンバッハー（ドイツ）とロス・ガン（英国）が 23 号車で出場します。

新型 **Vantage GT3** は、世界各地の名高いチャンピオンシップでデビューを果たしながら、既に大きな将来性を見せています。先週末も、パートナーチームの **Racing Spirit of Léman** のデレック・デボア（米国）とキャスパー・スティーブンソン（英国）、ワークスドライバーのヴァランタン・アス・クロー（フランス）がポール・リカール開催のヨーロピアン・ル・マン・シリーズ（**ELMS**）2 回戦で **LMGT3** クラス 3 位に入りました。**WEC** と **ELMS** を合わせた 4 戦のうち、**LMGT3** クラスで 3 度目の表彰台獲得になります。

シルバーストンでの発表以来わずか 3 カ月ながら、アストンマーティンが誇る **GT3** チャレンジャーは既に 25 台がヨーロッパ、アジア、米国の **WEC**、**IMSA**、ファナテック **GT** ワールドチャレンジの各シリーズ、さらには日本の **SUPER GT** など、10 以上の重要な **GT** シリーズで活躍しています。この数字は、競技初シーズンが終わるまでに少なくとも 35 台に増えると予想されています。

数々の世界選手権を勝ち取ってきた歴代モデルの後継であり、ウルトラ・ラグジュアリーな新型ロードカーの **Vantage** と同じ機械的アーキテクチャを採用する新型アストンマーティン **Vantage GT3** と **GT4** は、今年 2 月に初公開されました。**Vantage GT3** はアストンマーティンの実績ある接着アルミシャーシを中心に組み立てられ、恐るべき **4.0** リッター**V8** ツインターボエンジンを動力源としています。ノーズからテールまで一新された感動的なエアロダイナミクス、全面的に見直されたサスペンション、最先端のエレクトロニクスが、このアストンマーティンの最新世代の **GT** カーに世界最強のポテンシャルをもたらしています。

アストンマーティンの耐久モータースポーツ責任者のアダム・カーターは、次のように述べています。「新型アストンマーティン **Vantage GT3** は、それぞれのシリーズにデビューするたびにその競争力の高さを証明し続けています。**WEC** と **IMSA** の両方で好調なスタートを切ることができましたが、その中で、異なるコンディション、異なるサーキット、レースコンディション下の異なるタイヤでの強みを把握しつつあるところです。このようなデータは、ル・マン 24 時間をはじめとする大きな 24 時間レースに 3 つも出場し栄誉を狙う 6 月に向けて、とても役に立つことになります。」

スパ・フランコルシャン 6 時間の公式練習は 5 月 9 日（木）の現地時間 **11:30**（英国標準時 **10:30**）、レースは 5 月 11 日（土）の現地時間 **13:00**（英国標準時 **12:00**）に開始されます。**IMSA** のラグナ・セカ戦の練習は 5 月 10 日（金）の現地時間 **13:15**（英国標準時 **21:15**）、レースは 5 月 11 日（土）の現地時間 **12:10**（英国標準時 **20:10**）に開始されます。詳細は各シリーズの公式ウェブサイトと公式アプリでご確認ください。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-kzpqWI6UYx>

## アストンマーティン・ラゴндаについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって**1913**年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、**Vantage**、**DB12**、**DBS**、**DBX**に加え、同社初のハイパーカーである**Valkyrie**など、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、**Racing. Green.**サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは**2025**年から**2030**年にかけて、**PHEV**と**BEV**を含むブレンドドライブトレインア

プローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴンダは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴンダは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda  
Head of Regional Marketing & Communications-Asia Pacific  
有澤 久美子

[kumiko.arisawa@astonmartin.com](mailto:kumiko.arisawa@astonmartin.com)

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 御園生資己：090-8063-7117

[astonmartin-pr@pjbc.co.jp](mailto:astonmartin-pr@pjbc.co.jp)